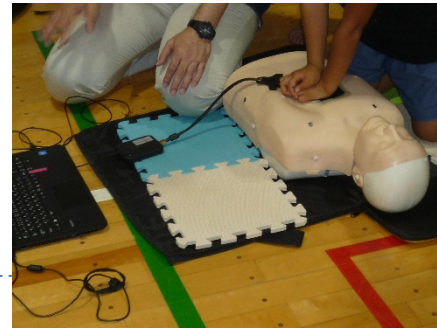


小中学生との震災対策

9月1日(土)及び2日(日)、中学校にて行われた、「**小中合同宿泊震災訓練**」に参加しました。
参加者は、小中学生有志と、校長先生・副校長先生、学校支援本部、PTA有志。
内容は、**震災救援所立ち上げ訓練**を子供達中心に行い、その他、体育館での**段ボールハウス作り**や、**HUG(避難所運営ゲーム)**等も行いました。
また、7月21日(土)～22日(日)には、小学校にて行われた「**学校に泊まろう会**」に、今年もPTAとして参加。ここでは、**簡易救命救急講習**や**防災倉庫見学**等を行いました。



子供達と一緒に震災訓練等を行うことにより、**私自身も**

学び、かつ「大人だけでは気づきづらい」課題を知ることができます。

今年度から、近隣小学校における「震災救援所運営連絡会」にも、所属防災会の一員として参加することになりましたので、**様々な場での気づきを区政に活かしていきたい**と思います。

ゲストティーチャー



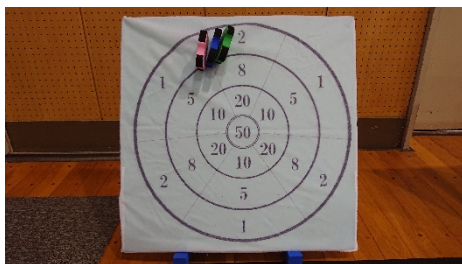
9月3日(月)～5日(水)、3年ぶりに、**小学校運動会での表現種目における「ゲストティーチャー」として、授業に参加しました。**



今回の対象は、小学5・6年生の約150人。
様々な子供達と直に触れ合うことができ、学校現場の様子も知ることができるこうした機会は、今後も積極的に関わっていききたいと思います。

ファミリーダーツ／シニアダーツ

国のスポーツ基本計画では、スポーツへの関わり方として、「**する**」にとだけでなく、「**みる**」「**ささえる**」ことも挙げております。
私にとって、学生時代に取り組んでいた**バレーボール**が、「する」兼「ささえる」スポーツになっています(知的障害のある人や小学生への指導、PTA同好会の手伝い等)。



幼児用の「手裏剣ダーツ」

また、「ささえる」スポーツとして、最近は**ダーツ**にも取り組んでおり、夏から秋にかけて、下記に参加しました(放課後子ども教室は、近隣NPO法人のご協力を得て自ら企画・実施)。

日付	種類	内容
7月20日	ファミリー・ダーツ	和田公園はじっこまつり
7月29日		小学校放課後子ども教室
10月13日	シニア・ダーツ	シニア交流ダーツ大会



スポーツによる交流を通して、普段接することのない方達と触れ合い、新たな気づきが得られます。**継続的な活動と新たな活動のバランスをとりながら、多様な視点を区政に反映していきたい**と思います。

次の定例区議会(平成30年第4回定例会)は、11月16日(金)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第60号(平成30年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX:03-3247-8660 E-Mail:ikuma@gakushikai.jp
HP:http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
平成27年5月より4期目。
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(15歳)、長女(13歳)、次男(10歳)。

「財政」「施策目標達成数」とも悪化 ～ 平成29年度杉並区決算を分析する ～

平成29年度杉並区一般会計決算が、10月16日の区議会において、賛成多数で認定されました。
私は、①財政悪化 ②目標を達成した施策指標の減少 から、**反対**いたしました。

判断1:財政悪化

経常収支比率

経常収支比率の推移

総合計画(平成24～33年度)では、区自らが「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」の筆頭目標として、

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
82. 8%	82. 5%	79. 8%	79. 7%	81. 9%	82. 6%

「経常収支比率(*1)について80%以内を目指します」と定めております。

しかし、**平成29年度は82. 6%**と大きく上回りました。それだけでなく、**前年度から0. 7%悪化**もしております。

(*1)経常収支比率…財政の弾力性を判断する指標。適正水準は、一般的に70～80%とされている。比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを示している。

判断2:目標を達成した施策指標の減少

施策指標の目標達成状況

目標を達成した施策指標の割合

総合計画(平成24～33年度)では、事業の進捗状況を図るために、各施策指標(*2)に対して各年度の目標値を設定しております。

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
29. 2%	47. 9%	43. 4%	36. 6%	40. 2%	29. 3%

これまで、その達成状況はあまり芳しいものではありませんでしたが、**平成29年度は、目標を達成した施策指標の割合が約30%という、総合計画初年度以来の低い達成状況**でした。

これでは、総合計画最終年度(平成33年度)における目標達成は、非常に厳しいと言わざるをえません。

(*2)施策指標…当初は73項目。平成27年度の総合計画改定により、現在は84項目。



区政の各施策について7割が目標を達成できず、かつ財政も悪化しており、平成29年度は非常に残念な結果となりました。「**目標に対する意識の希薄化**」が懸念される状況であり、行政をチェックする議会の一員として、厳しい対応を取らざるをえません。

なお、特別会計のひとつである「**中小企業勤労者福祉事業会計**」についても、**区自らが「条例違反に対し、適正に処理しなかったこと」を認めており、決算に反対**いたしました(議会としては、賛成多数で認定)。

決算特別委員会での質疑

10月2日～10月15日、決算特別委員会が開催され、10月3日、9日、10日に質問者として登壇しました。以下、その一部を取り上げます。

* 決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画放映(下記)でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video2_Search.asp

【質問でとりあげたテーマ】

3日	電子収納サービス
	公債費
	目標を達成した施策指標の割合(P.1参照)
	内部統制
	中小企業勤労者福祉事業会計(P.1参照)
9日	施設再編整備(P. 3「施設再編整備説明会」参照)
	定期監査指摘事項(保健福祉部、保育課)
	救命救急
10日	有害鳥獣等相談
	定期監査指摘事項(教育委員会)
	学校法律相談事業
	小学校での土曜日学校・放課後子ども教室と放課後等居場所事業(P. 3「施設再編整備説明会」参照)
	放置自転車対策
	自動運転公道実証実験

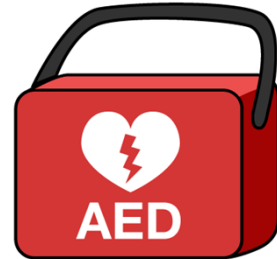


【救命救急】

杉並区では、平成33年度までに「すぎなみ区民レスキュー(*1)」登録者数を4,000人とする目標をたてております(平成29年度実績は3,043人)。

また、区内の小中学校において、平成29年度は**小学校6校、中学校全校で児童・生徒を対象とした救命救急講習が実施**されました。

(*1)すぎなみ区民レスキュー…東京消防庁が認定する救命講習、及び、区の救命救急制度に関する講義を受講した方。すぎなみ地域大学で受講可能。



私自身、今夏に応急手当普及員再講習を受講しました(P.3参照)。また、小学校での防災イベント(P.4参照)では、保健所の方に来校いただき、参加児童に簡易救命救急講習を実施していただきました。

いざという時に備え、命を守る方法は、年齢を問わずより多くの人が身に付けておきたい技能だと思います。質疑の中では、小学生への救命救急講習の意義について確認したところ、

「大変有意義であり、地域団体等から要望があれば、今後とも講習を行っていききたい」(保健所)
「発達段階に応じて充実させていきたい」(教育委員会)
との答弁をえております。



調査活動等

RPAセミナー

8月14日(火)、都内の民間企業にて行われた「RPA体験セミナー」に参加しました。

RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、パソコンで人が行っている定型作業を自動化する仕組みです。



昨年3月の予算特別委員会にて、行政への導入・適用を提案し、その後、いくつかの自治体で導入や実証実験がなされておりますが、残念ながら杉並区では未だ取組まれておりません。



少子化・高齢化に伴う行政需要の増大や、施設の老朽化に伴う改築・改修を、次世代に負担を押しつけることなく適切に実施するためには、そのための財源をしっかりと確保しなければなりません。「働き方改革」への取組みとあわせ、**行革による財源確保の方策については、自身でその効果を確認しながら、今後も提案をしていきたい**と思います。

応急手当普及員

8月19日(日)、新宿・戸塚消防出張所で開催された、

「応急手当普及員再講習」

を受講しました。前回の再講習受講からは2年強の月日が経ってございましたが(有効期間は3年)、改めて

- ◆心肺蘇生法
- ◆AEDによる除細動を練習し、また、
- ◆指導における留意点を学びました。



会派視察

7月11日(水)～12日(木)、今後の議会で議論される可能性があるテーマについて、視察を行いました。

訪問都市	視察テーマ
豊橋市	公契約条例について
	家庭教育支援条例について
浜松市	子ども育成条例について

公契約条例(地方自治体が行う契約に関する条例)に関しては、区による議会答弁で、「公契約条例の制定も視野に入れ」との発言がなされております。



家庭教育支援については、法制定を求める意見書を国に提出してほしい、という陳情が、議会に提出されております。



今後、議会において検討する際には、視察で得た内容や他都市の実情を、しっかりと参考にしていきたいと思います。

施設再編整備説明会

8月28日(火)、高井戸地域区民センターにて行われた、**「区立施設再編整備計画・第二次実施プラン(平成31～33年度)計画案説明会」**に参加しました。



説明会当日に区民の方から出された質疑や、私自身の問題意識を踏まえ、決算特別委員会では、
➤ **小学生の放課後等の居場所**のあり方(既存の「土曜日学校・放課後子ども教室」と、新たな「放課後等居場所事業」を、どう融合するのか)

➤ 築55年が経過している**本庁舎東棟**が、今後少なくとも15年程度は十分に使用できると判断した根拠及び検討過程等について、質問をしました。

今後も様々なご意見を踏まえたうえで、「区政のあるべき姿」を判断していきたいと思います。なお、今年3月の予算委員会で指摘した、「『施設白書』における、改築・改修にかかる経費試算の不備」については、今回の施設再編整備計画案では是正されておりました。



質疑の中で、改善策として、
◆ 研修を年度初めに実施
◆ 日常から法律を意識してもらうために、**著作権をテーマに研修を実施**

といったことが、教育委員会から示されました。**学校をめぐる環境が複雑化しているなか、法的視点から学校経営を支援することの意義は私自身も認めております**ので、より効果的・効率的な事業となるよう、今後も議会の立場から検証していきたいと思